

2014年7月号

みんな好きやねん フェアプレー

スポーツ きみが主人公！

スポーツは平和とともに！

# スポーツおおさか

発行者：新日本スポーツ連盟大阪府連盟

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15

三双ビル 2階

TEL 06-6942-4751 FAX 06-6942-4753

ホームページアドレス <http://www.osaka-sports.net>

メールアドレス [office@osaka-sports.net](mailto:office@osaka-sports.net)

## 歴史とお茶の街 源氏物語・宇治十帖を歩く！

6月15日（日）京阪宇治駅に集まった22人は、準備運動をして、宇治橋を渡り、日本かおり風景百選の道、お茶の香りを受けて世界遺産「平等院」へと向かいました。道中、抹茶の香りとお茶団子が目に入りました。



このウォーキングは、10年前に大阪ウォーキングクラブの結成の時に初めて行ったウォーキング行事でした。宇治駅の様子も変わり、随分と懐かしい想いがよみがえりました。

「平等院」は改装されて、観光客も多く、池に写る鳳凰堂はまさに美しく、心が落ち着く一場面でした。

折からのサッカーワールドカップの日本とコートジボワールの対戦中で、日本の本田選手が1点を入れて、リードしている事を知り、みんなで喜んだものでした。



次に「天ヶ瀬吊り橋」を渡り、川沿いで昼食休憩をとり、この時



にはサッカーで日本が2対1で逆転されたと聞き、全員がっかりしていました。

そのあと朝日山に向かい、その頂上からわずかに「ハルカス」が見えていました。

←見えてるはずですが…

山を降りて今度は世界文化遺産の「宇治上神社」にお参りして、この日のウォーキングは無事に終了しました。



# 大阪スポーツ祭典(大阪府予選大会)が開幕！！

第30回全国スポーツ祭典軟式野球大会  
(開催地：静岡県 11/15～16)への  
出場権を目指し、いたしました!!!

今年は36チームが出場し1回戦から熱い  
戦いが繰り広げられています。



以降予定(ホームページ参照)

7月13日(日) スポーツ祭典三回戦

7月20日(日) スポーツ祭典準々決勝

7月27日(日) スポーツ祭典予備日

8月 3日(日) スポーツ祭典準決勝、決勝

<http://www.njsf-osaka-baseball.rexw.jp/supo.html> ← ← 試合結果もホームページにて(^\_^) v

## 大阪テニス協会第40回総会、開催しました



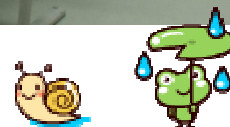
6月21日(土曜日) 靱テニス  
センター地下1階会議室に於いて  
第40回総会を開催しました。

2013年度活動報告、2014  
年度活動方針を中心に討議を  
重ねました。出席者全員の活発な  
発言の中から今後のテニス協会  
の方向が見えてきました。

2015年度を見据えて今年度は活動  
を進めて行きたいと思っています。今年も  
加盟クラブからの委任状が多くあり、総会  
出席クラブの参加をどうしたら増やす事  
が出来るのかが悩みの総会でもありまし  
た。



来期、41回総会は  
今年の倍の参加を目指して頑張ります!!!





# 酷暑の中、反核平和マラソン 10コースから189人、大阪城へ！ 「核ゼロへ テープ切るまで 足とめず！」



7月6日（日）「第33回関西網の目、反核平和マラソン大会」は、夏の日照の照りつける中大阪府下各地から大阪城公園を目指して「核兵器なくせ」「平和憲法を守れ」を訴えて走り、無事に全コース大阪城公園噴水前に集まりました。

一番距離の長い岸和田コース（40km）は、午前7時に岸和田市役所前で出発式をして、岸和田市自治振興課長の西村 芳徳氏、年金者組合岸和田支部長の木村 哲夫さんから激励の挨拶を受けて、ランナー24名とサポーター3名が元気にスタートしていきました。

一方大阪の北からは、島本町に午前7時に集まったランナー13名とサポーター4名が島本町舎前で町長メッセージを島田総合政策部長が代読して受け、共産党の河野、佐藤両町会議員の激励を受けて、7時30分に元気よくスタートしました。

高槻市庁舎ではこの日、国民平和行進参加者の激励を受けて、東京～広島通し行進者の竹田さんより挨拶を受けて、お互いの健闘を誓い合いました。



また、枚方コースではインターネットからの申込で、沖縄県宮古島市から参加の福里 猛さんが紹介され、見送りの市役所関係者や参加ランナーからも驚きの声が上がっていました。

午後1時15分頃から、各コースが大阪城公園に到着し、1時30分に「平和宣言集会」を開催し、瀧端 美津雄実行委員長、スポーツ連盟大阪の渡邊 紀雄理事長からの激励の挨拶があり、川野 弘之事務局長の平和宣言「核ゼロへ テープ切るまで足止めず」を全員の拍手で確認して終了しました。

今年はランナー 151人、サポーター 38人の189人の取り組みとなり、各コースの中継地点での送り出しの人も19ヶ所65人から激励を受けていました。また、核兵器全面禁止のアピール、署名263筆、宣伝物12種類12,905枚がランナーから配られています。

8月5日（火）～6日（水）の「2014年反核平和マラソン スポーツのつどい in 広島」へも大阪実行委員会から代表も派遣することになっています。



# 「空はつながっている」といえるために スポーツの平和的发展のために

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

遠くの空の下では/今でもせんそうをしている  
国があるんだって

空はつながっているのに/どうしてかな/どこ  
までが/平和で/ どこからがせんそうなんだろう

6月23日の沖縄「慰霊の日」に、沖縄県糸満市の平和祈念公園で開かれた沖縄全戦没者追悼式で、石垣市立真吉良小学校3年生の増田健琉君が読み上げた「空はつながっている」と題する詩の一節です。

つながっている空の下で、みんなスポーツを楽しんでいるのだろうか。それはいいのです。戦争の空の下では、スポーツは楽しめません。戦争の空から飛んでくるのは、ボールではなくて砲弾だからです。

今こそ「スポーツは平和とともに」です。その時に安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を閣議決定しました。それは、戦争の

放棄、戦力不保持、交戦権否認をうたった憲法9条を事実上削除するに等しいものといわねばなりません。

健琉君の詩は続きます。平和の願いをこめて。

どうしたら/せんそうのない/どこまでも続く青い空になれるのかな

白い雲/ぼくの平和のねがいのをせて/この地球をぐるっとまわって/ 青い空にそめてきて

スポーツ連盟の「スポーツは平和とともに」のノボリ旗は、青地に白字を染め抜いたものです。それは、健琉君の詩にある「青い空」と「白い雲」そのものといってよいでしょう。白字「スポーツは平和とともに」は、「白い雲」となって、この地球をぐるっとまわって、「青い空」に染め抜かねばなりません。

この間、スポーツの平和的发展のために、一貫して運動を進めてきたスポーツ団体として、それぞれの地域において、種目において、一人のスポーツを愛する者として、今こそ力を致す時です。

(全国連盟通信より)



①家族で「平和の礎」を訪れ、戦没者の冥福を祈る人たち



②平和祈念公園内の「平和の火」



③「平和の詩」を朗読する増田健琉君  
(「毎日新聞」より)

